

## 第2回「SDGs ロボットプログラミング教室」開催のご案内

—宝物を収集する「SDGs ロボットプログラミング教室」に参加しませんか？—

好評により、今年も第2回として「SDGs ロボットプログラミング教室」を開催いたします。

この教室では、まず、子どもたちはSDGs（持続可能な開発目標）の重要性と「人としてしなければならないこと」についてお話などで触れるとともに、プログラミングの基本について学びます。

つぎに、1日をかけて、走行ロボットを使って、SDGsの17の個々のゴールに見立てた小さな宝物と、宝物に見立てたごみを収集します。宝物を探してキャッチしゴールへと向かうプログラミングを、グループワークで行い、実際にロボットを動かしてみます。ロボットのプログラミング言語は簡単なブロック（ビジュアル）言語です。最後にはコンテストも行い、自分たちのプログラミングスキルを競い合います。

この1日の教室を通じて、子どもたちは技術と倫理の両面を考えながら、持続可能な未来への貢献の大切さを実感することでしょう。

ぜひ、お子さんをこの特別なプログラミング体験にご参加させてください。一緒に楽しく学びながら、未来の社会を築いていく意識を育てていきましょう！  
(競技風景) ——>



**日時：8月1日（木）10：00～17：00（昼休み、休憩含む）**

**対象：小学校4、5、6年生、中学生**

**定員：先着12名（研究会HPに空き状況表示）（保護者参観可）**

**申し込み：以下の項目を記入して、下記メールアドレスにお申し込みください。**

1. 子ども氏名（よみかた）、2. 学校 学年、3. Scratch など ブロック言語の経験の有無（班分けのため）、4. 保護者氏名、5. 住所、6. メールアドレス、7. 電話番号、
- 8 作文：「SDGs とごみ問題」と題して200～400字以内（メールの中に書き込む）

**申し込み期間：7月10日（水）10：00～7月24日（水）12：00**

**参加費：無料（ロボットとPCは4人1組の班ごとに1セット用意）、参加賞・賞品等あり**

**会場：電気通信大学80周年記念会館3階ホール**

**主催：SD-STEAM教育研究会、企画運営：実証モデル事例構築分科会**

**後援：東京学芸大こども未来研究所、電気通信大学社会連携センター**

**講師：東京学芸大学、電気通信大学、SD-STEAM教育研究会の教員ならびに学生**

**申し込みと問い合わせ先：SDGs ロボットプログラミング教室事務局**

**メールアドレス：sdgs.robopro@gmail.com（7月10日以降有効）**

**一緒にSDGsの思想を学び、ごみ問題の解決にも関心を持ちましょう！お待ちしております！**

# SD-STEAM 教育研究会について

私たちは日々、多くのモノに囲まれて暮らしています。家、電化製品、スマホ、自家用車、衣類などのモノだけでなく、健康を守る医療での薬や機械などのモノ、豊富な食料を生み出すために欠かせない化学肥料や農業用機械などのモノもあります。これらのモノは、長年積み重ねられた多くの科学技術の知識から作りだされ、この意味で私たちは科学技術の恩恵を受けながら暮らしているといえます。

これらの科学技術は現在では、さらにお互いに影響しながら極めて速く変化しています。これからの人たち、とりわけ子どもたちは、これらの変化を受け入れ、さらに創造的に科学技術を変化させていかなければなりません。STEAM 教育（S：科学、T：技術、E：工学、A：芸術・教養、M：数学）は科学技術に関心を持ってもらうための教育です。

一方、これらモノの大量生産・大量消費は多くの恩恵にあずかれるものの、その結果としてモノの大量廃棄が多くの問題を生み出しています。さらに、大量生産・大量消費の過程で化石燃料を燃やすことから出される大量の炭酸ガス（CO2）は、地球温暖化の原因と言われています。また、この恩恵はまず先進国にもたらされましたが、世界の中では恩恵から取り残されている人たちもたくさんいます。このように科学技術は多くのひずみも引き起こしています。

SDGs はその理念として、「だれ一人取り残さない」とうたっており、世界が抱える問題や課題を 17 に分類し解決の目標を示しています。その底流には「人は他の人や自然のために何をなすべきか」という倫理観があります。科学技術は自然を守り、人を幸せにするものでなくてはなりません。そのためには SDGs の目標を意識し、問題を解決しながら持続可能な社会をつくってという考え方を取り入れることが大切です。

SD-STEAM 教育研究会は、子どもたちが主体的にそれらの考え方を取り入れ、STEAM 教育を受ける中で、問題解決を行動で示していくことができるという事実を積み重ね、自らの自信を培っていくことを目的として活動しています。

SD-STEAM 教育研究会 HP <https://sd-steam-ed.org>



つくられたロボット例

